

# 施策項目7 産業教育の充実

[評価結果]

【担当課：高校教育課】



担当課HP

<b>総合評価</b>	<b>計画どおり</b>
-------------	--------------

定量評価 [指標]	A
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	2	0	0
	d評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
<p>産業教育の充実に向けて、学校と関係機関が連携した学習機会を充実させることが課題となっていることから、各学校の実践研究の成果発表会を実施した。参加者のアンケート結果においても、農業高校と工業高校の学科を越えた連携・協力が参考になったなどの意見が多かったことから、研究の成果が見られた。また、農業関係者から、スマートハウスについて問合せがあるなど、新技術に対応できる人材育成に向けて、地域や関係機関の期待が膨らんでおり、施策の進展が認められる。</p>	

## [施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」  
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1) グローバル化などの社会の変化や産業の動向等に対応した人材育成の推進                  ・地域産業のグローバル化の進展など、多様な課題に対応できる課題解決能力の育成が急務</p> <p>(2) 企業・大学等と連携した産業教育の充実                  ・デジタル社会の進展に対応し、地域の持続的な成長を支える職業人材の育成が必要</p>
---------	---

(1) グローバル化などの社会の変化や産業の動向等に対応した人材育成の推進	
【P】 次年度へ	<p>① 探究的な学びを通じて地域におけるキャリア教育を推進する「北海道CLASSプロジェクト」の継続実施</p> <p>① 地学協働を進めるための総合的な探究の時間を軸とした教育課程の編成について指導助言（10月開催、参加者：地域コーディネーター等11名参加）</p>
【A】	<p>① 高校生が実習で生産した商品や企業等と連携して開発した商品を、北海道のアンテナショップ等で販売するなど、特色ある学習活動で取り組んだ成果を積極的に発信</p> <p>① 地学協働の取組において、地域とつながっているという感覚が学校はまだ不十分であり、地域と連携した取組の成果を普及する機会が必要</p>
(2) 企業・大学等と連携した産業教育の充実	
【P】 次年度へ	<p>① 実践的な職業教育の充実を図るため、本道産業を支える人材を育成する「専門高校フューチャープロジェクト」の継続実施</p> <p>② 地域と産業の持続的発展をけん引するイノベーターとしてのマイスター育成を図る「マイスター・ハイスクール事業」の継続実施</p> <p>③ 新たな業種やICTを活用した働き方などに関する情報を発信</p> <p>① 成果発表会（11月、参加者：高校生、全国の教育関係者、農業・工業関係者を合わせて200名以上参加）を通じた成果の効果的な普及・啓発とともに、専門高校NEXT人材育成協議会（2回開催）を踏まえ、事業終了後においても、取組を継続できるよう指導助言</p> <p>② 産学官が一体となった教育課程の刷新・実施を検討                  （R4継続 静内農業高校）                  ・スマート水産業等の研究に向け取組体制を整備                  （R4採択 厚岸翔洋高校）</p> <p>③ 各学校における進路指導が充実するよう、関係機関と連携し情報を取りまとめ、進路だより（8回発行）等を通じて周知（対象：全道の公立高校等）</p>
【A】	<p>① 起業家的資質・能力を身に付けるとともに、プログラミングや再生可能エネルギーなど、デジタル化や脱炭素化などの社会の変化に対応できる職業教育の実施</p> <p>② 地域の産学官の関係者が一体となった教育課程の刷新・実施による職業人材育成システムの確立</p> <p>③ 新たな業種やICTを活用した働き方など、変化する情勢に対応するため、進路指導担当教員向けに研修内容を充実</p> <p>①・② 事業終了後も、各学校が地域の持続的な成長を支える職業人の育成を図ることができるよう、包括連携協定の活用や、企業等との連携を一層促進することが必要</p> <p>③ 社会において、仕事内容や求められる人材像等も大きく変化しているため、進路指導の在り方について、見直しを図っていくことが必要</p>

## [指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 職業学科を設置する道立高等学校において、企業や産業界、大学等と連携し、世界を視野に地域の課題解決に主体的に取り組むなど、グローバル人材の育成に取り組む学校の割合(%)	(H28)		57.4	68.1	78.8	89.5	100	95.7%	b	職業教育関係教育課程に関する調査	道教委	R5.5	道立高等学校及び道立中等教育学校後期課程
	36.0	54.9	64.7	84.3	87.1	82.9	95.7						
② 職業学科を設置する道立高等学校において、生徒が学んだ専門的な知識や技術も踏まえて進路を選択した者の割合(%)	(H28)		73.4	80.1	86.8	93.5	100	90.9%	b	職業教育関係教育課程に関する調査	道教委	R5.5	道立高等学校及び道立中等教育学校後期課程
	60.0	58.7	64.0	74.9	85.3	90.0	90.9						
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		A						
	0	2	0	0									
新型コロナウイルス感染症の影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組													
d評価に対する今後の取組													